

試験運用ルール

千葉大会において以下の試験ルールを運用する。

1, ArboristTreeClimbing と ThrowLine&RopeInstallation 同時開催

- ・会場内は2会場が行き来できる状態になっている。何回行き来しても減点にはならない。
- ・会場の中央付近にスタート地点がある。
- ・2競技ともに時間は30分 同時にスタートする。
スローライン&ロープインステレーションは30分間スロー、ロープセッティング、回収をしてよい。
場内では走ると10秒のルールは存在する。
- ・スローライン&ロープインステレーション、アーボリストツリークライミングはどちらから始めてもよい。同時でもよい。
- ・場内のチーム人数は5名
- ・場内に持ち込めるギアは、クライミングの道具（ロープ、フリクションセーバー、サドル、ランヤード、ノコギリ、etc）最大2セット。スローラインは両競技共有でスローライン3本まで、スローバッグは5つまで、スローライン連結等に使用するカラビナは2つとする。

2, レスキュー

- ・出場チームは事前にメンバー役割表を実行委員会に提出。
- ・会場でくじを引く
- ・くじ引きでヴィクティムを引いた選手はヴィクティム役となる。
- ・4人での救助となり、役割表で提出した役割を行う。
但し、クライマー役がヴィクティム役となった場合はマルチスタッフがファーストクライマーとして、クライミングできる。
- ・時間に変更はない。
- ・ヴィクティム役の選手はヘッドジャッジ指定の場所を動けない。姿勢や視界に制限をかけられる場合もある。